

教育課程の新たな展開に向けた取り組み II — 主体的な自己を育てる教育支援のあり方 —

- 期 日 平成25年1月25日(金)
➤会 場 東京学芸大学附属特別支援学校及び成美教育文化会館

➤日 程	9:00 ～ 9:30	9:40 ～ 11:10	11:10 ～ 11:40	11:45 ～	12:45 ～ 14:45	15:00 ～ 16:20
	受付 正面 玄関	研究授業/公開授業 各教室及び特別教室	全体会 及び 諸連絡	昼食	分科会 成美教育 文化会館 他	シンポ ジウム 成美教育 文化会館

- シンポジウムテーマ 「特別支援学校の教育課程を考える」
➤シンポジスト

東京都杉並区立済美養護学校長

松浦隆太郎先生

東京都教育委員会中部学校経営支援センター支所長

中西 郁 先生

東京学芸大学特別支援科学講座教授

渡邊 健治 先生

後援 東京都教育委員会 東久留米市

本校は「教育課程の新たな展開に向けた取り組みII」を主題とし、日々の授業実践を積み重ねていく過程で指導計画等を練りながら教育課程の検討を進めております。今年度は、サブテーマに「主体的な自己を育てる教育支援のあり方」と題して、かつて本校独自に作成した支援内容配列表の改訂を中心に、幼児・児童生徒のライフステージに合わせた教育課程の新たな展開に向けた取り組みを行っております。また、午後は上記の方々をお迎えしたシンポジウムを予定しております。豊富なご経験に基づき、教育課程の課題や今後の方向性について話題提供を頂きます。多くの方々にご参加を頂き、特別支援教育の更なる充実・発展につながる意見交換の場となれば幸いに存じます。

平成24年11月 東京学芸大学附属特別支援学校長 大伴 潔

研究授業/公開授業
9:40~11:10

分科会
12:45~14:45



【幼稚部】 幼児期の主体性を育む生活と遊びの研究

人形を用いた研究授業「象徴遊び」を参観いただき、幼児たちが日々の生活で印象深く経験したことを自らの遊びの中で再現する様子を確認するとともに、幼児期の支援の在り方について話題にしたいと考える。また、教育課程に関する提案では、身近生活や家庭生活に重要な初期の要素を提案し、深く協議したい。

共同研究者：藤野 博先生、林 安紀子先生、伊藤良子先生



【小学部】 子どもたちの言語活動の充実をめざした授業づくりⅡ

小学部では、児童の言語・コミュニケーション、読み書きの実態や授業の評価と改善に基づく授業づくりを行ってきた。今年度も引き続き、コミュニケーションに視点をあてた「国語・算数」を取り上げる。低学年学級の授業を中心に、小学部段階のコミュニケーション支援の在り方について検討していきたい。

共同研究者：小池敏英先生、小笠原 恵先生、橋本創一先生



【中学部】 本校の就労支援と中学部の「作業」でつけたい力を考える

中学部では、昨年度に引き続き就労に向けた「3つの作業班で共通してつけたい力」について検討する。作業学習においてみられた生徒の変化や成長、そこに至る支援について事例研究を通して報告する。分科会では様々な地域の特色なども踏まえ、中学部段階での就労支援のあり方について協議できればと考える。

共同研究者：伊藤友彦先生、加瀬 進先生、澤 隆史先生



【高等部】 生徒の生活によりそう「暮らし」の授業づくりⅢ

高等部では3年間の継続的な学習としての「暮らし（実技）」の指導内容を再構築し、家庭への評価・支援シートを作成してきた。分科会では指導内容、学習したスキルを実生活で生かしていく方法等を含めて、授業づくりや授業改善について協議できればと考える。

共同研究者：渡邊健治先生、濱田豊彦先生、奥住秀之先生

➤申し込み方法

- ・FAX:同封の申込用紙にてお申し込み下さい。
- ・Mail:下記の内容をご記入してお申し込み下さい。
 - ①「研究協議会参加申し込み」②お名前③ご所属④ご住所
 - ⑤電話・FAX番号⑥参加希望分科会⑦お弁当の要・不要及び個数

➤申し込みの締め切り

- ・平成25年1月16日(水) 以降はお問い合わせ下さい

➤費用

- ・参加費:2000円 お弁当代:800円(ご希望の方のみ)

➤問い合わせ先

東京学芸大学附属特別支援学校

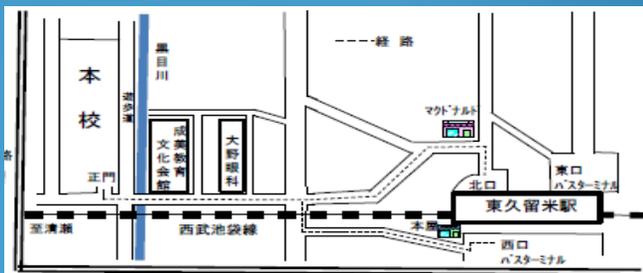
〒203-0004 東久留米市水川台1-6-1

URL:<http://ns.yougo.u-gakugei.ac.jp>

TEL/FAX 042-471-5274/5275

Mail:sskenkyu@u-gakugei.ac.jp

会場案内



西武池袋線
東久留米駅
下車徒歩で
約10分